



看護の心をみんなの心に

5月12日は
看護の日

看護の出前授業

全国の生徒に看護の心を伝える。



看護師が
全国の学校を
訪問

日本看護協会と都道府県看護協会が「看護の日」事業の一環として行っている、「みんなで話そう—看護の出前授業」では、保健師や助産師、看護師らが中学校・高等学校で看護の仕事の魅力、やりがいを伝えている。今年には2万人を超える生徒が参加。強くあたたかな「現場の看護職の声」が多くの生徒たちの心を動かしている。その中から、2校の授業を紹介する。

7/13 奈良市立柳生中学校

生まれてきた奇跡と「命の重み」を心にとめて

【講師】大和高田市立病院 長嶺美津子さん

【 妊娠・出産は長く大変な作業 思いやりを忘れないで 】

奈良市の東部に位置する奈良市立柳生中学校は全校生徒15人の小さな学校だ。夏の日が差し込む教室で「看護の出前授業」が全学年を対象に行われた。講師は、助産師・看護師として30年近いキャリアを持つ長嶺美津子さん。数々の出産の現場に立ち合ってきた経験を基に命の大切さを説く。

まず用意されたのは重さ約12kgの妊婦体験ジャケット。男子生徒が装着し、しゃがむ、寝そべるなど日常動作を試した。「妊婦さんがこんなに大変だと思わなかった」という声に、長嶺さんは「あえて男の子に着てもらいました。この大変さを覚えておき、



初めての妊婦体験に「こんなに体が重いなんて」と驚く男子生徒

将来大切な人との間に命を授かった時に「大変だね、手伝おうか」といたわってあげられる人になってください」と語りかけた。

続いて受精と着床の仕組み、出産までの流れをスライドで説明する。「妊婦さんの幸せな瞬間に立ち会えるのは私たち助産師にもうれしいことです。ただ妊娠も出産も、誰もが順調に迎えられるわけではありません。皆さんのお母さんは10カ月間、大変な思いをしながら愛情を込めて大切に皆さんを育ててくれたのです。お母さんと赤ちゃんの頑張りがあるのはじめてお産は成立します。そのサポートするのが助産師です」。長嶺さんの言葉に生徒たちは命を育むことの素晴らしさ、自分が無事に生まれてきた奇跡を感じていた。

赤ちゃんの人形を用いた演習ではオムツ交換と服の着せ替えを体験した。はじめは不安げだった生徒たちも「抱っこしただけで大切にしなければという思いが強くなった」「命の重さがずしり感じられた」など小さな命をいとおむ気持ちちが芽生えたようだ。長嶺さんは「皆さんは今、命を生みだす体になるための変化の時期にあります。不安や心配があっても当たり前です。困ったことがあったら相談することも大切。小さな命と同じように自分を大切にしてください」と語った。

授業を終えた生徒たちは「知らないことがたくさんあって勉強になった」「助産師の仕事に興味を持つようになった」とさまざまな思いを抱いたようだ。



赤ちゃんの着せ替えを長嶺さんが実演



へその緒を切るまなざしは真剣そのもの



心臓の音を聞きながら生命の尊さを説明する長嶺さん



習ったばかりの赤ちゃんの抱き方を実践しながら話を聞く



超音波画像を見ながら命が誕生するまでを説明

7/11 岐阜県立郡上高等学校

励ましたり助けられたり患者との関わり合いで成長

【講師】岐阜県総合医療センター 阿久津弥生さん 金子奈美乃さん 水口葉月さん

【 介助演習で「看護職への夢」を後押し 】



看護する側、される側の気持ちを考える

岐阜県立郡上高等学校では、看護・医療職を希望する生徒59人を対象に「看護の道」をテーマとする出前授業が行われた。

講師を務めた看護師の阿久津弥生さんは看護職の働く場の広がりや

看護大学と専門学校の違いを紹介。「看護は人との関わりの中で生まれるもの。私たちが患者さんを励ますだけでなく、患者さんに助けられることもあります。大切なのはどうしてほしいのかを相手の立場で考えること。それが看護の道へと進む第一歩です」と語った。



「相手を思う気持ちが大切」と語る阿久津さん



看護師として活躍する水口さん(右)と金子さん(左)からアドバイスも

阿久津さんと共に招かれた同校卒業生の金子奈美乃さんと水口葉月さんも自身の体験を紹介。「誰かのためになる仕事に就きたいと思い、看護師を選びました。まだまだ手さぐりの日々ですが、私なりの看護観を探して成長していきたいです。皆さんも夢に向けて頑張ってください」とエールを送った。

後半は食事介助の演習が行われた。この演習は目の不自由な人の食事を補助するもので、生徒は患者役と看護師役をそれぞれ体験。病院食として用いられているゼリーや茶わん蒸しとパックジュースを少しずつ口元に運んだ。「量やタイミングが難しかった」「話しかけることで、患者は食事を楽しめると分かった」「信頼関係が大切だと思った」な

どの感想が上がった。実践的な演習に生徒たちは「家族に看護師がいて話を聞いていたが演習で細かい気遣いが必要だと実感できた」「あらためて看護師になりたい気持ちが強くなった」と述べ、目標に向けて気持ちを新たにしようとした。

本日 午前11時から 放送

BS朝日 特別番組

看護の心をみんなの心に
～心がふれあう看護の授業～

今回紹介した奈良市立柳生中学校と岐阜県立郡上高等学校での「看護の出前授業」の様子を、BS朝日で放送します(30分番組)。ぜひ、ご覧ください。

あしたの 5ch

BS朝日

看護の心を、みんなの心に。



http://www.nurse.or.jp/home/event/simin/

「みんなで話そう—看護の出前授業」に関するご意見・お問い合わせは、
日本看護協会 広報部
koho@nurse.or.jp